

長野県南木曽町へTEC-FORCE派遣
～土石流被害の調査・復旧に向けて～

TEC-FORCE Technical Emergency
Control FORCE



平成26年7月

国土交通省 中部地方整備局

緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)による支援活動の概要

7月9日夕方 南木曽町にて土石流災害発生

7/9 **南木曽町へリエゾンの派遣**
多治見砂防国道事務所及び天竜川上流河川事務所より派遣4名

7/10 **南木曽町へTEC-FORCEの派遣**

- ◆先遣班 防災ヘリコプター調査 (中部地整2名、長野県2名)
- ◆リエゾン班 多治見砂防国道、越美砂防各2名(10～11日)
- ◆国土技術政策総合研究所(国総研)が現地調査

7/11

- ◆先遣班 梨子沢監視のため、WEBカメラ設置 4名
- ◆政府調査団(団長:亀岡政務官)が現地調査
- ◆リエゾン班 多治見砂防国道 4名(11～12日)
- ◆被災状況調査班 本局5名 県道264号 梨子沢橋 橋梁点検

7/12

- ◆被災状況調査班 梨子沢被災状況調査を実施(5班34名)
- ◆リエゾン班 多治見砂防国道 4名(12～14日)
- ◆リエゾン班 本局 4名(12～14日)
- ◆応急対策班 飯田国道 10名 仮設橋 架設開始

7/13 ◆南木曽町長へ調査結果を報告(13日14:00)

7/14 ◆リエゾン 活動終了(14日17:00)

7/15 ◆応急対策班 仮設橋 架設完了
TEC-FORCE活動終了(15日21:25)

7/16 ◆仮設橋開通 (16日10:00～)



監視カメラが捉えた土石流の映像



国総研 砂防研究室長が
長野県副知事に調査結果報告



夜間監視のため照明車を派遣



監視用WEBカメラ設置



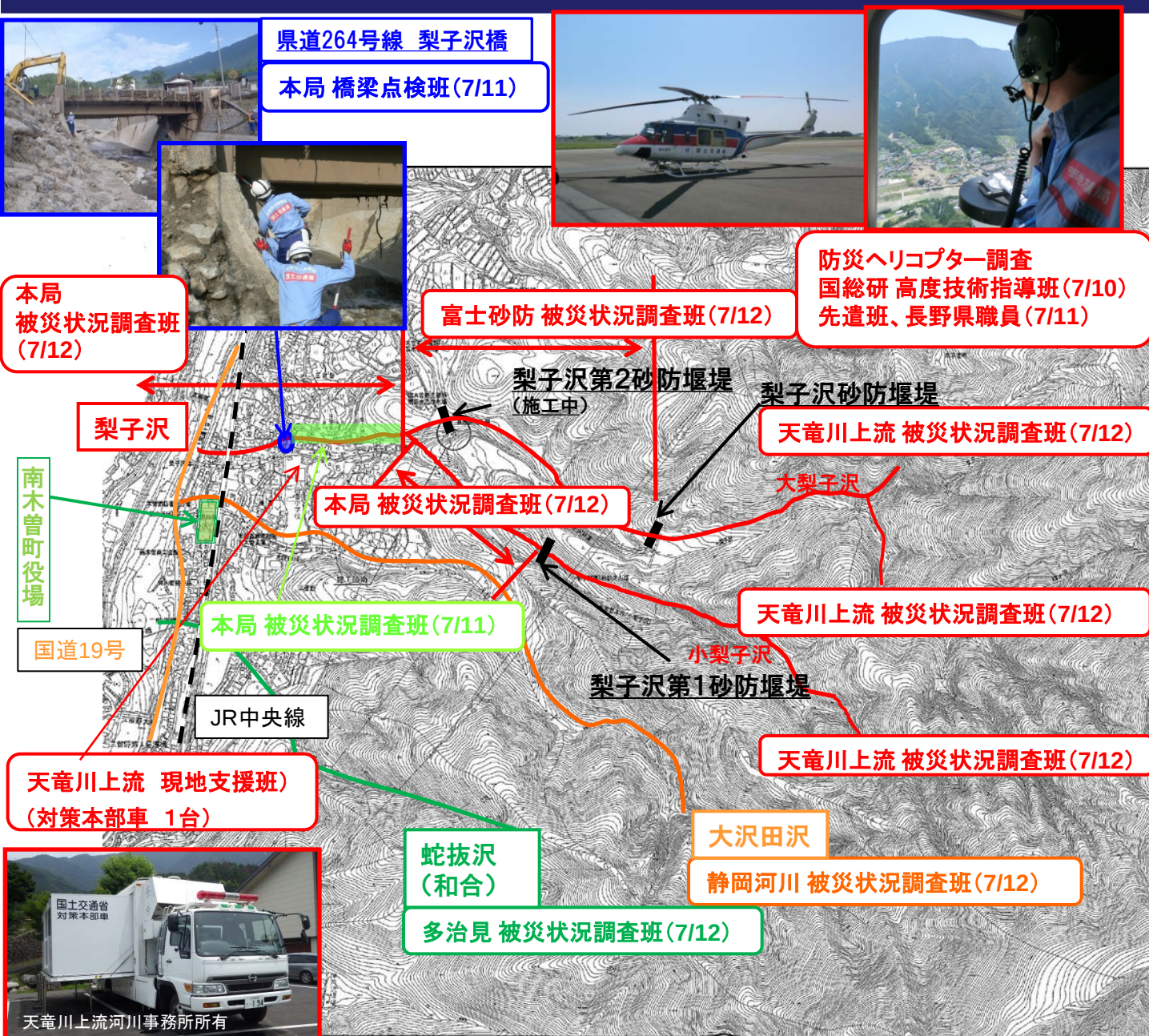
南木曽町のリエゾン、広報班



※被災直後の県道梨子沢橋付近(南木曽町提供)

※リエゾンとは？ 災害時に被災自治体に派遣され、整備局との連絡窓口、情報収集を行う職員。
 ※先遣班とは？ 被災直後から被災状況や必要応援規模を把握する
 ※被災状況調査班とは？ 踏査等により、公共土木施設等の被害状況を調査し、被災箇所の早期把握を実施する
 ※応急対策班とは？ 国が保有する資機材を活用し、被災地の応急対策支援を支援する

被災状況調査の概要



小梨子沢にて10m超の巨石を確認



南木曾町長からTEC-FORCE隊員への激励

県道264号梨子沢橋の仮橋架設完了 ～南木曽町の復興に向けた架け橋に！～

町の主要道である県道264号は梨子沢橋の損傷により通行止めとなり、町民へ多大な影響を及ぼしていた。長野県の要請により応急仮設橋を7月12～15日に架設。7月16日10時に開通した。



仮設橋設置作業



開通した仮設橋を渡る給水車

調査結果を南木曽町長に報告(H26.7.13)



二次災害防止に向け、南木曽町は「南木曽町梨子沢における土砂災害警戒避難に関する検討会」を開催し、学識経験者の意見と共に今回の調査結果を踏まえ、避難判断基準を設定した。

災害復旧技術専門家を派遣



現地調査の状況

○7月24日～25日、長野県の要請を受けて、全国防災協会が災害復旧技術の専門家2名を派遣。
○現地調査の結果や復旧工法について、県や南木曽町に**助言**を行った。



とりまとめ会議の様子

■**助言のポイント**
○埋そく土は早急に除去することが望ましい。
○堰堤全体の被災状況を早急に確認し、経済性・施工時の安全性を考慮しながら復旧工法を検討することが望ましい。



国土交通省 中部地方整備局 企画部 防災課
〒460-8514

名古屋市中区三の丸2-5-1

名古屋合同庁舎2号館 Tel:052-953-8357

URL:<http://www.cbr.mlit.go.jp>

平成26年8月25日作成